

本村神明社

ほんむら

由緒

『天祿元(970)年伊勢神宮の神様が、武蔵国榛谷の峰に影向し、それから川井、二俣川へ鎮座。その後、下保土ヶ谷の宮林へと遷り、嘉祿元(1225)年神託があつて宮を造営。』(保土ヶ谷区神戸町鎮座神明社の記述より抜粋) 以後、二俣川村の鎮守として祀られてきました。しかしながら、この「宮」がどこであるのかがはっきりしません。

御祭神

伊弉諾尊 (イザナギノミコト)
伊弉冉尊 (イザナミノミコト)
皇大神宮 (コウタイジングウ)

鎮座地

神奈川県横浜市

旭区本村町三十九

電話 ○四五・三六六・一八八九

『寛永八(1631)年、宅間三十郎(後に伊織に改名)が神殿建立』

(関家所蔵神社明細帳より抜粋)

という説を有力としております。また、戦前は「二俣川神明社」という名称でございましたが、現在は「本村神明社」と申し、地域の氏神様・産土様として、家内安全、交通安全等様々な御神徳を頂き、地元の皆様をはじめ、多くの方々に崇敬されております。



平成十六年の大修理後の社殿
(現在)



二俣川村について

旧二俣川村は、現在の町名ではおおよそ以下の町内。旭区の本村町、四季美台、今川町、本宿町、南本宿町、二俣川、さちが丘、中尾、中沢、三反田、小高町、市沢、左近山、桐が作、大池町、万騎が原、柏町、善部町、東希望が丘、中希望が丘、南希望が丘、保土ヶ谷区の今井町。